

# 播州赤穂の城下町散歩

発行 赤穂市教育委員会

v1.1



赤穂の城下町は、室町時代につくられた砦からはじまりました。

江戸時代になると、池田氏による治世を経て正保2年(1645)に浅野氏が治めるようになりました。この頃に現在の赤穂城が築かれるとともに、城下町が拡大整備されます。

現在の町は、いくらか改変されてはいますが、戦を強く意識し、城に簡単にたどり着けないよう複雑につくられた町割りがよく残っています。皆さんも、花岳寺から大蓮寺、また萬福寺の周辺を歩いてみると、思わず道に迷ってしまうことでしょう。

このほか赤穂義士の屋敷跡前に設置された義士説明板や、元和2年(1616)より約350年間使用された上水道モニュメント、さらに街角にはユニークな博物館などもあります。赤穂城跡に入る前に、ゆっくりと見学されてみてはいかがでしょうか。

赤穂城跡には、本丸庭園や三之丸大手門枡形など、当時を偲ぶことができる復元をはじめ、花見広場など一息つけるスポットもありますので、ご活用ください。

御崎方面

尾崎方面

# 赤穂城下の寺社めぐり。

赤穂城下町の寺は、戦がおこった際に兵が集まる屯所としての役割をもっていました。そのため、姫路街道、備前街道、船入りの付近といった、戦略的な場所に建てられています。すでに中世には建立されていたものもあり、その歴史の古さがうかがえます。

## ◆福泉寺

寛文5年(1665)に開創された法華宗の寺院で、山号を長遠山と称する。境内には茅野和助の子猪之助の墓があるほか、大石頼母助の書簡が伝えられている。

なお、幕末の文久事件により藩政から退けられた村上真輔の次男河原駿之助が藩領外へ立ち退く途中、襲撃の企てがあることを知り福泉寺で自害しており、境内にはその墓がある。

## ◆高光寺

山号を法耀山と称する高光寺は、もと大津村にあって妙典寺と称していたが、寛永17年(1640)に現在地に移された日蓮宗の寺院である。明暦3年(1657)には浅野長直から本尊の寄進を受け、寛文2年(1662)には長直夫人の菩提寺となり、延宝2年(1674)にその法名高光院を用いて寺号を改めた。

寺には原惣右衛門が奉納した直筆の『法華経』8巻、大石内蔵助良雄画の『大黒天画像』、浅野家寄進の『三十番神画像』『鬼子母神十羅刹女画像』のほか、義士の位牌などが残されている。

## ◆花岳寺

正保2年(1645)に浅野長直が父華嶽院と母台雲院の菩提寺として建立し、その法名から台雲山華嶽寺と称した。曹洞宗永平寺の末寺である。以後歴代赤穂藩主となる永井家、森家の菩提寺でもある。

境内には浅野・森家墓碑、赤穂義士47人の墓碑、義士宝物館、義士木像堂、大高源五の句碑等があり、赤穂藩や義士関連資料が数多く保存されている。山門はもと西惣門であったものを明治6年(1873)に花岳寺21代仙桂和尚が購入移築したものである(市指定文化財)。また、赤穂城の縄張を行った近藤正純の墓が妙慶寺から移されている。

## ◆常清寺

慶安年間(1648~1655)に開創された真言宗の寺院で、山号は春日山と称する。もとは東性寺といったが浅野長直の3回忌の延宝3年(1675)に長直の法号をとつて寺号とし常清寺と改名した。城下町の東北隅に位置し、西惣門の押さえとしての役割をもっていたという。寺には浅野家からの寺領寄進状が残されている。

## ◆大蓮寺

浄土宗の寺院で、山号を照満山と称する。もとは北方の山麓にあったと伝えられ、城下町が形づくりるとともに加里屋に移された。加里屋最古の寺院である。特に浅野長友の夫人戒珠院の帰依を受け、境内には戒珠院の墓があるほか、大石内蔵助良雄の寄進と伝えられる稻荷神社と石灯籠がある。また、大川安頃、赤松蘭室、神吉東郭といった、幕末期の文人の墓が多くある。

## ◆萬福寺

真宗大谷派の寺院で、山号を大嶋山と称する。もと英賀(姫路市)に建立されていたが、那波大島(相生市)を経て天正年間(1573~1592)に加里屋に移った。

## ◆隨鷗寺

元和2年(1616)に開創された臨済宗の寺院で、山号を河西山と称する。その開山の雲甫は不生禅を確立した盤珪の師である。寺の裏は熊見川に面し、浅野時代には遠林寺とともに水軍の屯所としての役割も担っていた。境内の墓地には義士の肉親や近藤源八の墓がある。

## ◆淨念寺

真宗本願寺派の寺院で、山号は等力山である。明応4年(1495)釈浄が開基した。かつて萬福寺前にあったが、元禄15年(1702)に現在の場所に移ったという。

## ◆永應寺

延徳2年(1490)に開創された浄土真宗本願寺派の寺院で、「播磨六坊」のひとつに数えられ、山号は朝日山と称する。寺には義士木像のほか浅野長矩の遺品として、大石内蔵助良雄から寄進された喚鐘とその際の書状が残されている。また、墓地には花岳寺の「忠義塚」の碑文の選者で、延享4年(1747)に『播州赤穂郡志』を著した藤江忠廉の墓がある。

## ◆赤穂大石神社

赤穂城跡三之丸にあった大石内蔵助及び藤井又左衛門の屋敷跡に建てられた神社。大正元年(1912)に創建されたもので、祭神は赤穂義士47名及び萱野三平、浅野家3代、森家の先祖7代の武将。境内には義士宝物館があり、義士ゆかりの資料が展示公開されている。また義士木像館には浅野内匠頭長矩や大石内蔵助良雄をはじめとする義士の木像が展示されている。

赤穂城跡内の散策は『播州赤穂の城散歩』が便利です。ご活用ください。



<配布・頒布場所>  
・赤穂市教育委員会生涯学習課文化財係(平日:43-6962)  
・赤穂城跡内近藤源八宅跡長屋門ボランティア説明所(土日祝日:43-6981)  
・赤穂市立歴史博物館(火曜日休館:43-4600)

赤穂市観光商工課発行「赤穂観光ガイドブック」もご活用ください。

<配布場所>  
・赤穂市観光商工課(43-6838)



# 上水道ルートを歩いてみませんか。

地図に示された上水道ルートの道路の下には、今も上水道の枠(マンホールに上水道と記名)や水道管が眠っています。このルートを辿ってみるのも面白いでしょう。

## ①導水路枠

## ②上水道 モニュメント

上水道のルートがよく残されているこの付近に一つ目のモニュメントがつくられています。展示されているのは、陶器製の上水管です。

## ③百々呂屋裏大枠 モニュメント

7km上流から取水された上水道の導水路は、城下町の入口であるこの地点で暗渠となり、城下町や城へと運ばれました。江戸時代には2間(約4m)四方の石組枠がありました。

説明板あり!

## ④息継ぎ井戸 (息継ぎ広場)

江戸から早籠で駆けてきた萱野三平と早水藤左衛門が一休みしたという井戸。現在はトイレ、周辺案内図なども備えた城下町のガイダンス施設となっています。

説明板あり!

## ⑤水琴窟 モニュメント

水琴窟とは、底に穴を空けて逆さにした陶器を据え、上から水を流して内部で水の音を共鳴させることにより、音を楽しむ施設です。この場所の発掘調査でみつかり、ポケットパーク(小公園)として整備されました。

説明板あり!

## ⑥配水路枠

現在は失われてしまった、城下町の街路の下を通っていた上水道の枠が見学できるよう残されています。江戸時代には、この地点を南方に流れ、赤穂城へと結んでいました。

説明板あり!

## ⑦上水道 モニュメント

ちょっとした小公園で、三之丸大手門を眺めながら休憩できる場所です。地図も備えてあります。

# 城下周辺の施設に行ってみよう!

## 赤穂緞通加里屋工房

問合せ先: 0791 (45) 0606

明治初期に生み出された、日本三大緞通のひとつ。緞通織の伝統技術が保存継承され、製作が続けられています。ここでは織る様子を見学でき、織機体験もできます(有料)。不定期開館、事前連絡必要。入館無料。

## 赤穂玩具博物館

問合せ先: 0791 (45) 7778

趣味だった、レトロなおもちゃの収集が実って、博物館が作られました。開館時間: 平日 12:00~19:00 (土日祝日は 10:00、3と8のつく日は 15:00 から) 休館日: 火曜日。入館料: 大人 330円、中学生 220円、小学生 110円、幼児以下 47円。Web サイト: <http://ako-wai2.com/~akotoys/>

## 赤穂オルゴール館 ルヴィーブル

問合せ先: 0791 (42) 1205

200年の歴史をもち、癒しの効果が明らかになっているスイスオルゴールをたくさん見ることができます。お手軽なものから本格的なものまであり、販売も行っています。開館時間: 10:00~19:00、休館日: 木曜日、入館無料 Web サイト: <http://bb.bidders.co.jp/ako-orgel/>

## たでのはな美術館

問合せ先: 090 (3496) 4282

棟方志功、池田満寿夫などによる版画、陶磁器を展示しています。開館時間: 10:00~17:00、休館日: 火曜日、年末年始 入館料: 中学生以上 200円 Web サイト: <http://117.ne.jp/~hangaako/>

## 赤穂市立歴史博物館

問合せ先: 0791 (43) 4600

「塩と義士の館」をテーマとする博物館。このほか、赤穂の歴史を古代から解き明かします。赤穂城跡のすぐ近くにあり、まずここで赤穂の歴史情報を入手するのがおすすめ。開館時間: 9:30~17:00、休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料: 大人 200円、小人 100円(団体割引あり)

## 赤穂市立民俗資料館

問合せ先: 0791 (42) 1361

資料館として使われている建物は、日本に唯一現存する塩務局の庁舎(県指定文化財)。内部には、様々な民俗資料のほか、ユニークなテーマの企画展示も行われます。開館時間: 9:30~17:00、休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料: 大人 100円、小人 50円(団体割引あり)

## 赤穂市立海洋科学館

問合せ先: 0791 (43) 4192

県立海浜公園内にあり、海洋全般に関する知識を学ぶことができます。科学館横にある「塩の国」では入浜や枝条架といった製塩施設が復元され、塩づくり体験もできます。開館時間: 9:30~16:30、休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料: 大人 200円、小人 100円(団体割引あり)、入館者塩作り体験無料(団体は連絡要)

## 赤穂市立田淵記念館

問合せ先: 0791 (42) 0520

隣接する田淵家から寄贈を受けた品々を中心に展示しています。国名勝田淵氏庭園とその眼前に広がる瀬戸内海の海岸美、そして温泉街では風情のある町並みが見られます。開館時間: 9:30~17:00、休館日: 火曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始 入館料: 大人 200円、小人 100円(団体割引あり)

赤穂市教育委員会生涯学習課(文化財係) 0791 (43) 6962  
(Web サイト: <http://ako-hyg.ed.jp/bunkazai/>)

赤穂市観光情報センター(観光案内所) 0791 (42) 2602  
(Web サイト: <http://ako-kankou.jp>)